

いわくら陸上地域クラブ「ラントレ（仮称）」の創設に向けて（案）

1 目的

- ・ 学校部活動の地域展開を見据え、陸上種目において、持続可能な地域クラブの将来モデルをつくる。

2 陸上練習の現状

- ・ 中体連尾北支所の陸上競技大会（5月開催）と駅伝大会（10月開催）は、ともに令和6年度から尾北支所単独では行わず、西尾張大会と同時開催となった。
- ・ 岩倉市の中学校では、陸上競技大会と駅伝大会前に一定期間行っていた通常の部活動後の陸上練習を令和6年度から縮小し、希望者を引率してのみの出場となった。
- ・ 12月に行われる愛知県市町村対抗駅伝に向けては、曽野小学校の三島教諭と滝川教諭が指導者となり、選考会を含めて5回ほど練習している。
- ・ 三島教諭は、近隣の小学生を対象としたランニングトレーニングの活動を、長期休業中を中心に個人的に無償で提供している。場所は、木曽川河川敷や小牧山など（保護者送迎による現地集合・現地解散）を用い、中学生が参加することもある。
- ・ 滝川教諭は岩倉市のスポーツ推進委員として、岩倉スポーツクラブの運営に携わっている。

3 構想

- ・ 三島教諭が行っているランニングトレーニング（ラントレ）を母体に、陸上競技大会と駅伝大会への出場を希望する中学生も加えて、一定期間練習を行う。
- ・ 当面中学生の参加は、南部中もしくは両中学校に陸上部を置き、拠点校部活動か合同部活動の形をとることにより、学校の部活動規則やスポーツ振興センター保険等の適用を受けられるようにする。
- ・ 小学生の参加は、事故やケガが発生した場合に備えて「岩倉スポーツクラブ」への入会（年会費1,200円＋保険料）を前提とし、移動や送迎についてはこれまで通り保護者が責任をもって行う。
- ・ 指導者は、三島教諭と滝川教諭を中心に、市役所協働安全課の富田氏や消防署職員、体育免許を持つ小学校教員等を募り、兼職兼業による部活動指導員か部活動サポーターとしての立場で指導者チームをつくる。
- ・ 練習場所は、南部中学校か曽野小のグラウンドを基本とし、練習時間は平日16時30分頃からか、休日（土・日のいずれか）の練習を想定する。

4 留意点

- ・ 中学生は「学校の部活動」、小学生は「岩倉スポーツクラブの活動」であることを文書化して保護者や関係者に周知する。特に小学生の送迎は保護者の自己責任となるため、必要に応じて同意書を作成し、保護者の責任を明確化する。
- ・ 将来、地域クラブとして継続的に運営できるよう「岩倉スポーツクラブ」の規約や運営について協議し、持続可能なモデルを検討する。
- ・ 小学校教員や市役所職員の指導に関しては、既存の兼職兼業手続きを適用し、指導者の過度な負担とならないよう配慮する。